

評価委員会総合評価

研究課題名：スカイラジオメータによる網走のエロゾル組成の長期変動に関する研究

評価委員

委員長：榊原茂記

委員：山中吾郎、藤田 匡、大野浩史、永戸久喜、中里真久、岡本幸三、
足立アホロ、仲江川敏之、山本剛靖、中村浩二、村田昭彦、井上 卓

評価年月日：令和8年2月27日

1. 総合評価

- (1) 実施の可否 可 否
(2) 修正の必要の有無 修正の必要あり 修正の必要なし

2. 総合所見

本研究は、網走地方気象台における長期スカイラジオメータ観測データを活用し、エロゾル組成の長期変動を解析することにより、観測データの有効活用、人材育成・技術力向上を図る点で意義が認められる。また、エロゾル組成解析は気候監視、データ同化システムの検証、さらには地球システムモデルや輸送モデル評価にもつながる可能性があり、学術的・業務的な貢献につながる可能性も期待される。

一方で、観測対象が網走のみで他地域の観測データを用いないため比較検証が限定的であること、研究開発要素がやや弱く研究目的や業務的意義をより明確に示す必要があること、黄砂予測モデルへの直接的貢献が限定的と考えられることなど、いくつかの留意点が挙げられる。

実施にあたっては、研究目的や達成目標、地方官署が取り組む意義や業務的貢献の方向性を明確にしたうえで地上観測と衛星データ同化の比較検証を進めていただきたい。また、網走の地域特性を活かしながら、長期解析から得られる知見を気候変動対応や国民生活に資する情報発信へと結びつけ、研究の価値がより高められることを期待する。